

地域情報化アドバイザー制度活用報告書（2日目）

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	弟子屈町	代表者名	徳永 哲雄
担当部署	総務課防災情報係	連絡先電話番号	015-482-2912
担当者役職	課長補佐	担当者氏名	宮下 和之
住所	088-3292 北海道弟子屈町中央2丁目3番1号		
連絡先E-mail			

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	白井 芳明
評価	大変よい
上記評価の理由（どのよう なところがよ かったか等詳 細に）	自治体情報システム標準化・共通化のほか、今までの経過・現状・これからの取り組みについて、分かり易く説明いただけ た。 また、職員に対するDX全般についての研修内容を、理解して貰うための内容として構築することができ、初めての取っ掛か りとして、共通認識を図ることができた。
アドバイザー への要望事項	今後、相談、アドバイスを受けたい事等が想定され、お時間のある時ご支援いただけると有難いです。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）	活動時間（分）
3-1. 活動	2022年3月2日	10時00分	15時30分	90	240
3-2. 派遣場所	会場名	弟子屈町役場		最寄駅	JR摩周駅
	所在地	北海道川上郡弟子屈町中央2丁目3番1号		最寄駅からの交通手段	徒歩
	派遣形態	講演（オンライン）			

4. 報告書についてのAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="checkbox"/> 掲載可
------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	職員	17人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 （具体的にご記入下さい）	令和7年度までの自治体システム標準化・共通化についての本町職員の認識が無いことから、窓口担 当者を主とし、共通認識を図ることが課題となる。	
支援により目指す成果 （具体的にご記入下さい）	先ずは、どの様な事か、何故必要なのか、今後何をやる事が必要になってくるのか等の認識を図る。	
アドバイザーに支援を受けた内容 （具体的にご記入下さい）	<ul style="list-style-type: none"> ・昨今の国の動き、デジタル社会実現に向けた重点計画から、デジタルガバメント実現に向けた背 景、また何故それが必要なのか。 ・自治体DXの位置付け及びそれに伴う業務改革、自治体DX推進計画解説。 ・自治体情報システムの標準化、共通化に係る手順書解説、F i t & G a p分析手法及び実際の方 法。 	
支援を受け改善又は解決された内容 （具体的にご記入下さい）	現在のデジタル社会実現に向けた町職員の共通認識を図ることができ、且つ情報担当職員のみなら ず、これからは現状のままの業務の在り方では、各々の職員の業務が成り立たないという人任せとは なり得ない危機感を持って貰うことができた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 （具体的にご記入ください）	今後どの様な社会及び業務の在り方になっていくかの共通認識を図ることができたが、これからの実 際の体制づくりや具体的に実施することの指導等を行っていくこと。	

アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。）アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 講演に対する質問の受付を後日実施した。大枠での共通認識は図れたが、具体的質問、提案等は現段階では特になかった。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	自治体情報システムの標準化・共通化に伴う業務改善及び効率化並びに住民サービスの向上。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

